# 探究力を高めよう

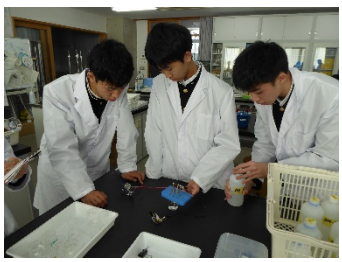
## -1年SS基幹探究 探究基礎Ⅱ 報告-

◇期　日 9月10日～1月28日の火・水・金曜日

◇場　所 富山中部高校 各教室

昨年の9月から5か月間、1年生探究科学科の生徒はSS基幹探究の探究基礎Ⅱの活動を行った。この授業では、生徒は16名の5つの班に分かれ、数学、理科、英語、国語、地歴公民の5教科、各6時間ずつ、計 30 時間にわたって、探究力を高める活動を行った。生徒達は、1学期に探究基礎Ⅰで培った読み解く力を生かし、主体的に生徒自身で情報収集や実験を行い、データや資料を読み解いて考察し、ポスターやパワーポイントなどを用いた発表を行った。

数学では、$x^n - 1$ の因数分解の法則についてのデータを収集し、数学的に考察を行った。理科では、計画を立てて様々な実験を行い、科学物質の判別や、重力加速度の測定に挑戦した。英語では、想像力を膨らませて考えたオリジナルの商品や、社会的なテーマについて、英語でプレゼンテーションを行った。国語では、仮説「『源氏物語』の和歌の現代語訳や解釈には、訳された時代、著者、媒体などによる差がある」を実証するために、様々な文献を調べ考察した。地歴公民では、訓点や返り点が付いた漢文を使って『魏志倭人伝』を読み解いたり、新年号・令和を迎えた日本のこれまでの年号について詳しい検証を行ったりした。

調べた内容については、各班のグループごとに発表しあい、意見を共有した。

生徒にとっては、探究基礎Ⅰに続いての探究活動であったが、内容がやや複雑になり、時間もない中、レベルが上がり困難を感じることもあった。しかし課題の発見、分析、実証、考察、発信など、多角的な学びができ、探究活動においては不可欠な力を培うことができたので、とても有意義な時間であった。来年度には、発展探究の活動も控えている。今年度の基幹探究の活動を生かして、さらにハイレベルなものへと昇華させていきたい。